

供覽

軍務局

艦政局

技術本部

佐鎮第三六、四二、四

大正五年九月二十九日

海軍大臣 加藤友三郎殿
佐世保鎮守府司令長官 山下源太
府司令官 保鎮

驅逐艦進水式

來十月三十日午前三菱會社社長崎造船所
於製成驅逐艦濱風進水式奉

九都

第四部

5.10.11
技三接受

五技
10.5

本技
5.10.4

技本
5.10.6

5.10

5.9.29

0242 5.9.30
受接

艦政局

大正五年十一月十一日午前十一時二十分 鮫浦局發
大正五年十一月十一日午前十一時十五分 海軍局着

受信者 海軍大臣

電報譯

濱風午前十時無事進水セリ。

第三艦

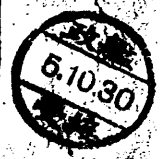


(3)

海軍

0243

10.30



艦政局

軍務局

大正五年四月三日

大正五年四月三日 午前十一時五十分 長崎局着

発信者 三菱

受信者 海軍大臣

電報譯

濱風今朝十時無事進水セリ



海軍局



0244



(文四第)

社 立會所 艦政 六十二治明 資合菱 造崎長 目丁 浦ノ 鮑市崎長 軍務局

供覧

手紙

大正五年十月三十日 第六二三號

大正五年十月三十日

復寫 通

海軍大臣

御中

第一課長

三菱合資會社長崎造船所

拜啓陳バ左ノ通り電信爲員候ニ付爲念茲ニ

御確メ申上候 謹言

十月三十日發(至急同文ニ)

濱風今朝十時多事進水セリ

0245

官受

5.11.4

Handwritten notes on the right margin, including the characters "通" and "下".

軍務局

大正五年十一月五日 午後十時十分 海軍局發

發信者 吳鎮長官

受信者 大臣

電報譯

時津風無事進水セリ

第三號

東京

海軍

海軍局

海軍

(加長納)

0246

艦政局

技術本部

大正五年 五月 二十

日 午 十時 分 海軍局 發

發信者 吳鎮長官

受信者 大臣

電報譯

津風 第二課 津市 進水セリ

第四部

福田

第四部製圖課

田中

田中

副官

田中

新山

海軍

1278

0247

5.22.27

5.22.27

供覽

艦政局

軍務局

海軍大臣

川崎造船所

松方所長

駆逐艇時津風
自今進水致し

御届申上

高見、全了

第一課
第二課

海軍

12.27

政務
5.12.27
受接

0248

兼一非

并夕

三

菌

1

39

供電

軍務信 報 着

艦政局

名氏所居人信受

發

局

局



1572

1

銀

第

--	--

受

五



下

第	四
第	五

五

官報

局

號局日

定 指

著信
番號

數紙

名氏所居人信哉

第

事記

華僑日報

3

五

3. 5

11

10

100

0249

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

三月
軍務局
艦政局
機關局
技術本部

天津風機第一號

大正六年三月一日於吳海軍工廠

進達

海軍大臣加藤友三郎殿

第課長 驅逐艦天津風現狀報告 大正六年三月一日調

一、船体 九九

一、機装 九〇

一、局員 砲煩 四吋七砲身砲架搭載機砲身架搭載

第一部 技製圖電氣的通信裝置工事

第二部 水雷發射管四〇氣蓄器六五空氣壓搾機七五

第三部 裝氣管八〇配氣盤六〇通信裝置

一、機 汽機 九一五

兵器 五〇

6.3.14 技三接

技 3.22

技本 6.3.9 一部

三政機 6.3.7 受接

續受六正三月五時

政機 6.3.6 受接

記事

本月中諸公試運轉作業豫定左ノ如シ

三月七日

計器公試

全 九日

豫定行運轉

全 十二日

全カ豫行運轉

全 十五日

全カ公試運轉

全 十七日

1/10 全カ公試運轉

全 十九日

6/10 3/10 公試運轉

全 二十一日

3/10 1/10 十理公試運轉

全 二十二日

逆轉タビシ全カ五千馬力試験

全 二十四日

旋回力、后進、大砲、發射試験

全 二十六日

水雷公試

全 二十七日

以機開放檢査

右提出ス

(終)

0251

艦政局

軍務局

機關局

技術本部

第一五號

三月五日

日進

大正六年三月三日

第三課

在神戸川崎造船所

時津風驅逐艦長海軍少佐河野捨熊

海軍大臣加藤 三郎 殿

第三課長 局員

三月一日調現狀報告

本艦工務現狀凡記通り候

一、機件及機装 本月中工畢後、豫定

但左記手改造ヲ要ス

一、信號所扶輪目下機件方支障中

二、無線電信到入ハ鉄線より通電位置ニ在リ凡局、向隅矣、故ニ

自是より修正得ハ其補修改造必要アリ目下急務中

兵部 大砲 四三號

艦政局 密給

三政艦 6.3.7 受接

陽曆大正六年三月五日

6.3.7 第一級

三

6.3.6 受接

0252

（新用書附）

25キ742

大正六 上記 二件 瑞船 在 的、エキ 改造ス

捨能海壁

月五日
三
6.3.6
改

0252

新用機附

25742

大正六年三月十九日 海軍技術本部第四部

上記箇條ノ内、信号所擴展及砲台建場、
二件、杜術本部了改正図ヲ送付シ大型
強船一様ニ改定中ナリ
左記電信引入口鉄製云々件、磯凡（註）
的、エキス、パンデット、メタル製、ノ空艇成機、依リ
改定スベキヤ否ヤリ決定スル者トス、

0253

大砲橋付工事終了

但現在モミエハ砲架高ク機動性ノ際照準困難ナリ且場新設ノ爲ニ
通信電路本月中後功

水雷

發射管振付工事終了

発射電路通信電路工事中本月末後功

一、機関

今方公転運轉依リ抽氣唧筒吸収唧筒ノ力量不足ナル事ヲ認シ

全唧筒ノ力量大ナルモノ改造シ今時ニ「シーヤダール」式唧筒新製シ

置キ差シ「ロ」式唧筒運轉結果不良ナル時「ロ」式唧筒ノ取扱方ニ

目下工事進行中且他、機関ハ三月末ニ終先ハ豫定

一、役務

ロ「ロ」式唧筒改造工中ハ五月末日「ロ」式ヲ取扱方ニテハ

本日授度ヲ了スル豫定

右報告ス

(終)

0254

艦政局

大正 5 年 3 月 28 日 午 10 時 30 分 長崎 局 發
大正 5 年 3 月 28 日 午 11 時 10 分 海軍 局 著

受信者

大臣

電譯報

發信者 瀨風驅逐艦長

本日午前 10 時造船所ヨリ本艦ヲ

第二課

受領ス第三課

第五課

第一課

第四課

海軍

6.3.28

6.3.28

6.3.28

郵政局

No 509

大正六年四月十四日午後五時四十三分
大正六年四月十四日午後六時三十分
局發 局著

受信者 海軍大臣
發信者 吳鎮司令長官

電譯報

新造天津風竣工本日今艦長ニ引渡
済但シ推進器三箇ハエロウジヨン
生シ居レルニ依リ更ニ新造工事中右
ハ成ルヘク速ニ竣工換装スヘキ條件ヲ附
シ置ケテ取敢ヘス報告ス

主第第一
第第二
第第三
第第四
第第五

伊藤

郵政船第

二六號ノ五

海軍

6.4.18

6.4.17 四艦

6.4.16

6.4.16

0256

4.16

技術本部

機關局

軍務局

艦政局

四月

時津機密第二號

大正六年四月一日 在神戸川崎造船所

日進

海軍大臣 加藤友三郎殿

現狀報告、件

艦王現狀、記、通、候

右報告、候

記

信號所機長、座改送、四時、化、座、周、田、足、場、新、設、意、係

電信空中線、引、口、改、送、上、中、板、り、張、方、改、送、終、了、後、署、手

豫定、重油、取、改、送、五、時、外、後、上、四月、一日、出、海、(武田)

一、五、時、終、了、五、時、五、分、施行、豫定、決、定、是、

6.4.27 技三機密

6.4.24 技三機密

5.4.20 技三機密

6.4.17 技三機密

6.4.15 技三機密

6.4.5 技三機密

0257 6.4.26

推遷番ハ一集ノ上群類推遷セルニ對違者時ノ空集ハ其間時ノ相違
依故ガ各州ノ面積ヲ増大シント新ニ細微ナル空集ノ外面現セル
モノト及老翼共前進而シテ部於テ「ゴージン」ト云ハ細微ノ面
（痘痕多海綿狀ヲミ先ニ東南極ニ増シテ有テ老翼ノ足狀ノ多）
トシ認ムルモ現狀ハ公報通經ニ至ミテト思考ス四月下旬ニ對違社
残部施行ノ福生

備考 而性臣番ニ就テハ監督ハ有リテ内中邦主ニ邦長先達有リ
知事連海

進取現伏ニテ性臣番ニニ公敵遇列後直ニテハ或ハ性臣番ニ於テ
取捕ヲ要スルニ至ルニ至ラバ性臣番ニテ取捕ヲ要スルニ至ルニ至ル
備フ爲メニ性臣番ニテ取捕ヲ要スルニ至ルニ至ルニ至ルニ至ル
取捕ノ必要起リタルハ性臣番ニテ取捕ヲ要スルニ至ルニ至ル
ニ至ルニ至ルニ至ルニ至ルニ至ルニ至ルニ至ルニ至ルニ至ル
永シカサルヘリカサルニ至ルニ至ルニ至ルニ至ルニ至ルニ至ル
必要ナルハ性臣番ニテ取捕ヲ要スルニ至ルニ至ルニ至ルニ至ル
然ル時ハ性臣番ニテ取捕ヲ要スルニ至ルニ至ルニ至ルニ至ル

(4)

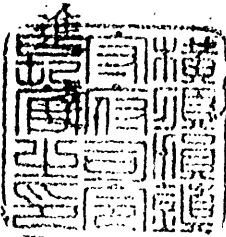
艦政局

軍務局

機關

技術本部

四月四日



津風艦隊第一〇號

第三課

第二課

第一課

大正六年四月一日 村松 吳海軍二麻

海軍大臣 加藤友三郎 敬

天津風艦隊長海軍少佐巨勢 大正六年四月一日 調

第一課長

第二課長

第三課長

第四課長

第五課長

第六課長

第七課長

第八課長

第九課長

砲台

水雷

汽機

電氣

航海

測候

醫務

先備

先備

先備

先備

先備

先備

先備

機砲架改造中

氣管器 完備

氣管器 完備

氣管器 完備

氣管器 完備

氣管器 完備

氣管器 完備

6.4.26 技三接受

6.4.18 技三

5.4.20 技

6.4.21 技本

受六年四月四日

6.4.5 技

6.4.5 技

6.4.9 技

0260

6.4.10 技

4.17 技

事

四月廿五全四

四月廿五全四

四月廿五

四月廿五

公試運轉成績

力量

速力

回轉

馬力

全速力

三四四九

七七五五

六八五九

五分四

五三三九

七〇八〇

四二〇一

五分三

二八八九

六四八〇

一八六一

五分二

二五七五

五五五九

二七四七

五分一

二二七九

四八五七

六二五一

入渠

測程儀公試

引渡運轉

引渡

放開検査及發電機探照燈公試

0261

五月三日 進達

海軍第...

大正六年五月一日 在神戸川崎造船所

海軍大臣加藤友三郎殿

第二課

艦政局

伊藤 現状報告

本艦工率、現状九託通々候

軍務局

右報 諸課長 局員

技術本部

第四部

第一部

第二部

第三部

第四部

機関局

副官

水月...

機関政...

密第...

王號

6.5.17 技三接受

技本 6.5.16 一部

8.9.9 技本

5.7.1

三政 6.5.5 受接

政 6.5.4 受接

6.5.1

6.5.7

6.5.21 受接

0262

一兵部 凡此等事均于本年公報施行、殊是

一、探照燈公報 五月一日

一、空電機速度制動公報 五月一日

一、大砲發射電路公報 五月一日

一、水雷發射電路公報 五月一日

一、最吉校上是大砲發射（兵部報知器） 五月一日

一、在水雷發射電路是大砲發射 五月一日

一、機關科通信電路 五月一日

一、火藥庫發射電路 五月一日

一、電氣測程儀公報 五月一日

一、呼鐘電路公報 五月一日

一、電傳電路公報 五月一日

一、主副機電氣發射電路公報（兵部報知器） 五月一日

0263

官房第二二七六號

天津風波工程期日件

吳鎮

第二課長

長子

臣

經理局長

勝

第二課長

局員

軍令

機關局長

軍務局長

技術本部長

副

第一二

第三

第五

第五回

第一課

第二課

東三

次官

參事官

品
代
人
南

美務

盤政局員

大正五年

六月十六日

案
捺
印

牛

七月十七

日發付

保
印

天

案者印

1

校本
5.7.7
工部

技本二
577.
發付

6.29
受接

6
接受

五枝
6.29

5-6-28

१३५

4621
四庫

0.6

<http://www.jacar.go.jp/>

天津風竣工期日ヲ大正六年三月末日ニ變更ス
右訓令ス

(終)

(理由)

天津風主機「タルビ」製造用箇面ハ時津風用ノモノト同シク
外國ニ於テ調製中ナルが共ニ欧州戰乱ノ影響ヲ受ケ
箇面發送期延スル付從テ天津風竣工期日ノ變
更ヲ要ス

0266

別表、船體部、別表、製造方法書及図面、依り製
 造せし
 右訓令
 (別表、製造方法書及図面の枚目録を添付)
 (終)

捺原納

0268

艦政局

技術機密第一八四八號

大正五年十二月四日

第二課

枋内海軍技術本部長

中野海軍省艦政局長殿

一番乃至十二番艦艇船面及書類ノ件

一番乃至十二番艦艇船面及書類ノ件

変更ノ要スル部ハ大要ヲ示シタル船面及書類

類ノ記ノ通リ送附候ニ付可然レテ取計ヲ得ル

右照会ス

九記

船体部製造方法書

四角

各工務所

艦政機密第七二號

海



0269

26 12. 4

海軍

一般機装部、船内側面及諸甲板

四角

今 上船外側面及上部手面

四角

中央切斷部

四角

線部

四角

排水量等測線

四角

計貳拾四角

別部二十四角(係付)

(3)

(愛田納)

0270

紙 罪 案 起

大正五年十二月

日起案

起案者

十二月七日

日發付

發付掛

發付後起

案者捺印

大官廳

郵政局長

副官

參事官

第一課長

經理局長

技術部長

電信

大正五年十二月七日

佐世保、新鶴、鎮守府、長友、軍

十一月十八日電訓

一等驅逐艦製造

號番

青七早三時

局部	受月日	發月日
官房	青七日	
軍務		
人事	五、三、四	
醫務		
經理		
司法		
總政		
技本		
造兵		
教育		
臨建		
水路		
軍令		

0271

12. 2

5. 12. 1

五隻トモ大正六年九月中旬迄ニ竣工セシム様
取計フベシ

(終)

官房機密第一九六號

大正五年十月七

海軍次官

佐々木 鎮司 長友 等

急造駆逐艦竣工期ニ関スル件

急造駆逐艦ハ総計拾五隻ニシテ其竣工期ハ八隻ハ本年
九月中旬四隻ハ十月中旬ト定メ尙付工廠ニハ
一隻ハ九月中旬一隻ハ十月中旬トシテ
其其後佛心政材ノ切ナル希望ニ基キ種々詮議ノ上
今ヨリ是れハ九月中旬迄ニ全部竣工セシムガハ
アリ成ル本日更ニ電訓ヲ奉ル次第ナリ

捺原納

是非九月中自述：竣之る様努力せしむるに及ぶに
本工部局我海軍に既定する業に影響を及ぼす
るハ夫々所務に上其るに工部局に報告せしむ
持政を
右中(佳)

(終)

0273

森原 納

0274

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp/>

0276

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.iacar.go.jp/>

極秘

秘

起案罪紙

大正五年十一月八日起案

十一月十八日發付

發付後起

大

官

參事官

副官

總務局長

第二課長

第三課長

第四課長

第五課長

牛島

加藤

坂井

中央

海軍

陸軍

教育

水陸

軍令

局部 十二月十日

官房 官房受

人事

醫務

經理

司法

艦政

技術

軍兵

教育

臨建

水路

軍令

十月十八日二時

電

海軍

大佐

海軍

大佐

海軍

大佐

二等區

區

區

區

區

區

區

區

區

區

區

號番

官房

機

三九六號

三九六號

三九六號

三九六號

三九六號

三九六號

三九六號

三九六號

三九六號

三九六號

三九六號

0277

760,2

急製造せらるゝ其ノ構造及機装ノ詳細ハ

樺ノ角アリトス

軍用費

但シ陸軍費尠き儘ニ自造船費百四萬六千四百六十
六年九月中旬迄ニ佐、舞、ハ、志、同十月中旬迄ニ志
使、ヲ加フ、竣工セシム、尚本件ニ關シテハ、極
秘ト心得ス、
支出科目及年々割、機装等、
（終）

年々

附記

佛國政府ヨリ依頼、佛國駆逐艦十二隻ノ内八隻ハ海軍
工廠ニ製造シ、四隻ハ三菱川崎、本廠及浦賀ニ
於テ各一隻製造、要約スル、而シテ該ニ期限ニ
付テハ、主要鋼材ヲ製鉄所ニ送リ、其配給上

藤原綱

0278

慶長六年三月下旬に
 船に乗って江戸へ
 参上。江戸に到着
 した。江戸の町は
 大に発展し、人々
 が多く住んでいる
 ことが分かった。

0279

藤原 訥

0280

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

紙 罫 案 起

大正六年一月二十九日起案

起案者 徐印

松原

二月十九日發付

發付掛 徐印

松原

發付後起 案者徐印

松原

(主務) 艦政局長 代

大臣

次官 參事官

副官

技務局長

軍務局長

機關局長

經理局長

大正六年二月十九局員

局員

吳鎮第一四三九號、第一師、天津風波二期、延期、件認許ス

號番

官房第二文號

局部	官房	軍務	人事	醫務	經理	司法	艦政	技本	造兵	教育	臨建	水路	軍令
受月日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日
發月日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日

0281

洋

官

系考、

大正五年七月十日附官房第二七六號刻令竣工期

ハ大正六年三月末日ナリ

原稿

0282

軍務局

艦政局

機關局

吳鎮第一四三九號ノ二

大正六年 一月 二十七日

吳鎮守府司令長官 男爵 加藤 定

海軍大臣 加藤 友三郎 殿

驅逐艦天津風竣工期件

驅逐艦天津風竣工期ニ關シテ、大正五年七月十七日附官房第二二七六號
ヲ以テ改定方訓令ノ次第ニ有之候處、其後機關用材料、延着及
昨年十二月、以隣各艦隊ノ修理工事輻湊ノ結果、到底訓令ノ期
日ニ竣成難ク、得ヘキ見込無之ニ付、引渡期日ヲ二週間延期
致度候條、御認許相成度

右上申ス

(終)

官房第二二七六號

海軍

0283

五政廳
6.1.29
受接

6.1.29

11 12
13 14

三 變

附刻

RR 1:

警告！

劉安

海

三

張

517

附录二

0284

電 報 着 信 紙

局 着		局 發		第 二		官 報		受 信 人 居 所 氏 名	
取 扱 者	受 信	付 午 後	受 午 前	局 日	第 二	局 日	官 報	[Handwritten Signature]	
		時 分		時 分					
		字		日					
磁 風 時 止 の 受 領 し 各 磁 石 配 置 長 考 報 告 中 横 濱 日 本 長 官				局 員 [Handwritten notes and stamps]		事 記 [Large handwritten character '五']			

0285

寫

軍務局

大正六年二月十二日午後四時十一分長崎陸海軍局發

受信者技師本部長
發信者下平監督官

電報譯

濱風来二八日割渡予定

第一課

海軍

0286

軍務局

寫

大正六年五月廿九日

午後五時三十七分

大正六年五月廿九日

午後五時三十七分

大正六年五月廿九日

午後五時三十七分

大正六年五月廿九日

受信者

技料本部

發信者

秋澤監督官

電譯報

御時津風

三十一日

受領ノ事

定

第一課

海軍

0287

軍務

15

海軍

電報

九月五日午後四時十分電

海軍省

時辰風七の午在女城主合上り海軍省角二

持將中印長

兵部 秋沢岩田友

大東海軍よりシニ半松竹、予に託承、何理時

は凡海軍要を長へ大任を委重ス

海軍省

女籍の所籍を

海軍省

當座印

第一課

海軍省

海軍省

海軍省

0288

4/2/8

司令長官

参謀長

参謀
副官

供

十二月四日進達

班
班
班

平十二月二日

舞嶋海軍工廠長 南里 團

人臣 川 勝 友 二 郎 殿

時津風起工ノ件

艦政局

一等驅逐艦時津風本日迎工

右報告人 第三課 第二課 第一課 第五課

軍務局

技

第四部
第五部
第一部
第二部
第三部

舞嶋機務第二十八號

副官

技
計
畫

0289

